

横浜市営有料自転車駐車場管理運営業務委託評価委員会の開催結果について

平成 22 年 7 月 1 日に標記の委員会を開催し、平成 21 年度下半期の事業評価を行うとともに菊名駅自転車駐車場において不正行為があった横浜市 S & C パーキング共同事業体(以下「S & C」)に対する平成 22 年度委託契約継続の適否について審査しました。

1 評価委員

- 委員長 斎藤 毅憲 (横浜市立大学名誉教授)
- 副委員長 山田 尚典 (弁護士)
- 委員 川戸 眞澄 (サンケイリビング新聞社横浜事業局横浜編集部編集長)
- 委員 木下 尚実 (税理士)

2 議事内容

- (1) 平成 21 年度下半期の事業評価について
- (2) S & C に対する平成 22 年度委託契約継続の適否について

3 審査方法

各事業者から再発防止策を含めた事業報告の説明を受け、質疑応答を行った上、クレーム対応、接客、自転車駐車場の維持管理、経費節減についての取り組み状況を審査しました。

4 審査結果

- (1) 平成 21 年度下半期の事業評価
平成 21 年度下半期の事業評価としては、S & C 及び横浜市交通安全協会とも蓄積してきた知識、経験を活かし、安定した運営が行われているものと認められる。特に、利用者からのクレームが減少するなど接客マナー等のスキルアップが図られており、菊名駅自転車駐車場で不正行為はあったものの、両事業者とも概ね運営状況は良好であると評価した。
- (2) S & C に対する平成 22 年度委託契約継続の適否
S & C に対する平成 22 年度委託契約継続の適否については、再発防止策として、
 - ①後払い札の番号管理
 - ②整理員を一箇所に長期間勤務させない人事配置については既に実施しており、
 - ③自転車駐車場に対する年 2 回以上の内部監査
 - ④整理員に対して、公金を取扱うというコンプライアンス意識の啓発研修については実施する予定であることを踏まえ、今後これらの対策を着実に実施することを条件として契約の継続を認める。